

眩川

発行 眩川村役場
1958・11・20
編集 眩川村教育委員会

選挙管理委員会

本月四日、選挙管理委員会を開いて次の事項を決定した。
一、基本選挙人名簿調製
二、中居谷に投票区を新設する
三、眩栄部落は第一投票区に属する

本月の出来ごと

- 一〇月
一、農業委員会を開く
シフテリア予防接種 第二回を実施
二、二期農村青年建設班閉講式を行う
大谷小・中学校児童生徒 寄生虫検査
一九日 予子林地区家畜品評会開催
二一日 村常会を開く
村議会総務委員会を開く
三〇日 鹿野川ダム湛水式挙行
十二時三十分排水口を閉鎖
十一月
一日 予子林上甲香枝方故伊礼 憲徳氏葬儀執行
七日 眩川村国民健康保険管査 執行
八日 眩川村観光協会総会

集募句俳

愛媛県消防協会で

火災は年々増加の傾向にあつて、毎月平均九五件の火災が発生して、七・二〇〇万円の損害を蒙つております。その原因もいろいろになつておりますが、九五%までは一般の過失から起つており、原因の主なるものを挙げると、たき火、こんろ、かまど、煙突、たばこ、マッチ、電気、こたつ等があります。この火災を一般の予防觀念の普及徹底によつて少しでも減少致したく、本会は歌の国伊予にふさわしく「俳句」に織り込んで一般に呼びかけた、次の方法で懸賞募集をします。みなさん振るつて御投句協力下さい。

- 一、題「たき火」「火事」
二、投句制限 一人三句以内を「ハガキ」に書いて送付のこと
三、応募資格 一般人
四、賞金
一等 一句 三・〇〇〇円
二等 一句 二・〇〇〇円
三等 三句 一・〇〇〇円
佳作 十句 記念品
締切 十一月三十日
五、送り先 松山市築山町 愛媛県消防協会
六、入選発表 十二月号消防教室

村の人口移動

出生者 三三・一〇・三一日現在
出生者 氏名

- 久保 宮川 悦子
柳 大越 義文
中居谷 大野 盛光
白石 寺岡 和枝
下大和 今岡 英子
久保 宮武 志保
小 敷 西田 文子
中居谷 戒野 賢一
上森山 滝野 雄次
小 敷 池田 良一
上鹿川 平田 芳男
建設省 宮野 和子
嘉城 城戸 昭茂
小 敷 沖野 治子
死亡者
道野尾 上甲 リン
小 敷 池田 良一
中敷水 鶴田 吉久
世帯数 一・四九一
男 四・〇八一
女 三・七六六
総人口計 七・八四七

インフルエンザ (流行性感冒) について

一、インフルエンザの予防法
本病は飛沫感染により伝播され、排泄口及び浸入門戸(菌の出入するところ)は全く口腔と鼻腔にかざられています。したがつて流行時にはマスクの適正使用
二、ウガイの励行と共に被服、採暖及び栄養に注意し、

過労不摂生をさげ身体の抵抗力を増進させる

ワクチンによる予防接種此の予防接種は後日希望者をつのり実施する予定
患者の取扱について
一、自宅に於ては健康者と別室に隔離し、別室がない時はカーテン、屏風、衝立の類で隔離する。
二、流行期間中は、不要、不急の旅行特に団体旅行を見合わせ。
三、消毒について
一、患者のつば、たん、鼻汁等で汚染せられた紙片、布片は焼却する。
二、患者の居室の畳及び器具等は消毒薬をもつて拭浄し室内は空気の交換を図り日光の射入をよくし、又寝具、衣類はしばしば日光消毒を行い十分乾燥する。
三、患者の使用したタオル、ハンカチ、食器等は煮沸消毒する。

家族計画について

一、家族計画とはどんなことか
私たちの村は昨年より「家族計画特別普及地区」と言う長くてむつかしい事業の指定を受け、この仕事をすゝめております。まだこの「家族計画」と言うことの大切なことを本當に分つてもらえぬのが現状です。
二、家族計画とは一体どんなことでしょうか。
三、それは一口に言つて「自

分で自分の家族の人員を計画的に調節すること

かも色々母体の健康に害のあるおそろしい人工妊娠中絶によらないで調節すると言うことなのです。
なぜ家族計画をするのか、ここで何のためにこのようなことをするかと言うことが問題になりましょう。又生まれるだけ生めばよいではないかと言う意見も出ると思いますが、而し一人もないのもこまりもので、「子沢山」必ずしも「しあわせ」とも言えません。「おぼ捨山」の話「ま引き」と呼ばれる昔の習慣はこのことを物語っています。自分の生活状態にそつた家族数を妊娠前に考えると言うことが、どれ程私達の生活を健康で明るいものにする大切なことの一つであるか、静かに考えてもらえればわかれると思ふのです。

なぜこのことが実行されな

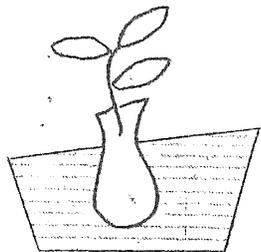
いか
昔からさきに書いた「おぼ捨山」とか「ま引き」とか色々な方法で人口を調節し、現在では「人工妊娠中絶」などで家族調節しておき乍ら、一方で一番健康的な受胎調節の方法をとらないのはなぜでしょうか。それは、
一、子供はさずかりものだと言ふ考え
二、日本の寝室のこと
三、器具薬品や方法を知らぬこと
四、知つていても「めんどうなし又夫の無理のため

5 経費のこと

其の色々あると思ひますが、一番もとは何もかも生はんかじりで、本當に理解され知られておらぬことのために問題がおきること、何か恥かしいことのように思つておる人が多いことだと思ひます。

四 村の行う家族計画講習会

に先ず出席して下さい。
このような原因をなくするために、村は保健所と一緒に会合を開き指導をしております。特に国、県、村がこのための経費の援助をして、生活があまり豊かでない方には器具、薬品をお安く渡しております。一人でよくよく考えることなく指導員と話し合つて、明るく楽しい生活のために「家族計画」を実行していただきたいと思ひます。第二回目の講習会を十二月上旬より実施する予定でありますので、いづれ御案内申しますが、何はともあれこのような会合には必ず出席して下さい、この問題を研究して下さい、よろしくお願い致します。



ねずみを

退治ましよう

ねずみが、年間米のみに与える損害だけで四〇〇億円(四〇〇万石)其他衣類、家具、道具、家屋の破損等を合せると、年間一兆億円に達する膨大な損失を吾々人間に与えているのです。仮に人口一億と致しまして、この金額は一人当り年間約一万円となり、一月八三三円を間接的にねずみの保育費として支払っていると言えます。冬期に集団発生する赤痢等は、その原因として、ねずみの媒介に依ることが甚だ多いとされていいます。その他ペスト、コレラ、腸パラチフス、発疹熱、ワイル氏病等の伝染病を媒介し、乳幼児にかみついて鼠咬症を起させる等病気の面から見ましても甚だ有害な動物であります。

扱ってねずみの害について簡単にのべましたが、此の様に猛威を振るい危険な敵であり而も全然人間に益するところのないねずみを、何故我々は撲滅することが出来ないのでしょうか。

第一にねずみは、非常に感覚器管等の発達した利口な動物であるからであります。ねずみの視覚は人の六倍から七倍であり、聴覚は人の四〇倍といわれ、一六種類の人間の会話をききわけ、味覚は人の四〇倍、嗅覚は人の一六倍といわれています。

このように感覚器管の優秀なねずみを退治することは、並々の苦勞ではないのであります。

第二はその旺盛な繁殖力に人の智慧がついてゆけなかつた、人間の一致協力が、努力が足りなかつ

た。尚ねずみを全滅させるような完全な器具、薬品が出来なかつたと言ふことです。農家の収穫期が終わると畑の作物と一緒にねずみが家の近くに異動しはじめます。隣近所合同で一斉ねずみ退治はこれからの最もよい時期です。使用法もかんたんな、安価な、よく効く薬が最近出来ております。自分の家丈でねずみ退治をやつても駄目です。部落内一斉に実施して、その最大の効果をあげていただきたいと思ひます。

造林用 苗木価格

昭和三十三年度造林用苗木価格は次の通り決定したので、お知らせ致します。尚県に於ては四国四県の協定価格より算定し、スギ、ヒノキ苗木共に一尺上伸切の規格にして、スギ三六〇銭、ヒノキ三九〇銭にして居ります。本組合取扱いのスギ、ヒノキ苗木は造林地等の関係もあり、一尺上と一尺四寸上の規格に分ける事に致しました。価格は県の決定価格より割出し一尺上のもの三、一尺四寸上のもの七の混合率と見て算出し、次の通り決定致しました。

| | | |
|-----|------|-------|
| スギ | 一〇寸上 | 三三〇〇銭 |
| スギ | 一四寸上 | 四四〇〇銭 |
| ヒノキ | 一〇寸上 | 三三八〇銭 |
| ヒノキ | 一四寸上 | 四四二〇銭 |
| スギ | 一四寸上 | 四四二〇銭 |
| スギ | 一四寸上 | 四四六〇銭 |

推茸の取り時季

推茸の取り時季はその価格に大差を生じることが皆さん周知の通りである。推茸栽培講習の時に良く講師の話に「ばんざいなば」を作らぬ様との事であるが、組合にて委託せられる中にまだまだ取り時季のおくれた茸が多い。推茸農協の方の話によると、もう少し早く取つておると、五百五十円でゆくものを四百円余りで売らねばならない。折角出来たものだから裏のそらない内、つまり八分開きのとき取る様知らせて呉れと、大変残念そうなる顔である。同じ百匁の茸で取り時季で、七、八十円から百円と差があつては、生産者としても考えねばならない事だと思ふ。八分開きで取つた茸は乾燥も早いので一石二鳥とも言える。尚相場は現在売値で秋子香信上物で、百匁当り五百三十円より五百五十円の色沢、形状、規格により差がある。

秋植えについて

麦蒔きの終つた十一月下旬より十二月月上旬はまだ陽気も良いので、普及会としては此の時季に、推茸菌の植付を奨励している。

今迄の様に二月中下旬に予定していても、作業の都合で四月頃になると、その年の天候により大変不成績に終る事がある。秋植はその点春植の頃には菌糸がほとんど伸びているし、雑

泉森連木材市売場相場 (十一月五日市)

（一才当り） 阪川土場価格次の通り (十一月五日市)

| 長さ | サ | 末口 | ス | ギ | ヒノキ | マツ | 備考 |
|--------|------|---------|-------|---|-----|----|----|
| 一三二寸 | 一〇上 | 三四七六銭 | 三五四〇銭 | | | | |
| 一〇尺 | 二〇上 | 三一〇五 | | | | | |
| | 三五上 | 三三二〇 | | | | | |
| | 五〇上 | 二八八九 | | | | | |
| | 六〇上 | 三〇〇四 | | | | | |
| | 一〇〇上 | 三三三四 | | | | | |
| | 二五下 | 二四三九 | | | | | |
| | 三五上 | 二八九二 | | | | | |
| | 六〇上 | 二九九六 | | | | | |
| 六六尺一七尺 | 二五下 | 一〇一四 | | | | | |
| | 三〇上 | 一二七三 | | | | | |
| | 六〇上 | 二〇五〇 | | | | | |
| | 三〇上 | 一〇一四 | | | | | |
| 三尺 | | 三六五〇 | | | | | |
| | | 一一四四 | | | | | |
| | | 四一七五 | | | | | |
| | | 四〇〇〇 | | | | | |
| | | マツバル材 | | | | | |
| | | 末口二〇一三五 | | | | | |

| 長さ | サ | 直材 | 末口 | 価格 |
|------|---|----|-------|-------|
| 五尺 | | | 三三一四寸 | 九四四〇銭 |
| 六尺 | | | 三三一五寸 | 九四四〇 |
| 七尺 | | | 三三一六寸 | 九四四〇 |
| 四尺 | | | 三三二四寸 | 八五五〇 |
| 四尺五寸 | | | 三三三三寸 | 八五五〇 |
| 三尺 | | | 三三三三寸 | 六八七〇 |
| 三尺五寸 | | | 三三三三寸 | 六八七〇 |

雑坑木 (ハゼ、ウルシを除く)

菌の入る四、五月には完全な滑りとなつて居るので、雑菌の浸入する予地が無くなる。従つてその成績も良効となる。

推茸菌種は一本二百五十円
打込器一式 六百五十円
替刃 一丁 百三十円
組合にて斡旋しますのでお申込み下さい。

あとがき

祭太鼓にうかれて居る間も次に祭の時に移り、山にも冬へのよそおいへ交つてゆく。「歳月人を待たず」「白駒の隙を過ぐる」。「少年老い易く」。「その他時の過ぎ去ることの早い」の表現する言葉や、諺は多い。

時と所を問わず、昔から人は月日の移りの早いことを慨嘆してきたものとみえる。もう一月もすれば又新しい年を迎える。この間正月をすましたような気がするのにな。うっかりしていると、何も為し得ず何時の間にもなく一生を終つてしまふ。人に惚れられた人、嫌われぬ人、働きた通ずる人、何もせず暮らす人、どちらを選んでも短かい一生であることを変りがない。何とか決意を新たにして働くにも、薬しむにも、人の為になるにも近代人としての計画性をもちたい。何をやる間もなく過ぎ去つてゆく早い年月のことを思つて、時や生活を大切にしたいと思ふ。